

**大学発新産業創出プログラム 社会還元加速プログラム(SCORE) チーム推進型
事後評価結果**

課題番号	STSC19010
研究開発課題名:	蛍光バイオイメージング技術を用いた薬効評価法の事業化検証
研究担当者(所属・役職・氏名)	北海道大学 大学院医学研究院 教授 大場 雄介

1. SCORE での活動目的

慢性骨髄性白血病(CML)は、我が国において最も患者数の多い白血病である。治療にはチロシンリン酸化酵素阻害薬(TKI)が広く用いられているものの、患者により効果が異なること等が問題となっている。我々はバイオイメージング技術を活用したチロシンキナーゼ活性測定試薬を開発し、「光診断薬 Pickles」と名付けた。Pickles は、CML における TKI の薬効を投薬開始前から予測できる世界で唯一の技術である。CML 患者に Pickles を用いた薬効診断を届けたいと思い、起業を考えた。そこで、事業化が可能かどうかの検討を行うため、顧客調査、規制当局との折衝のほか、ビジネスモデル検証を SCORE での活動目的とした。

2. 総合所見

事業仮説に基づき、インタビュー項目を事前に整理した上で慢性骨髄性白血病患者や担当医師との面談を行い、適切な仮説検証活動を実施している点を評価する。社会的に意義がある内容であり、他の疾患に展開可能であれば事業として成立する可能性が高いと考える。今後、チームアップやネットワーク構築を含めて事業化活動を拡げていくことを期待する。

以上